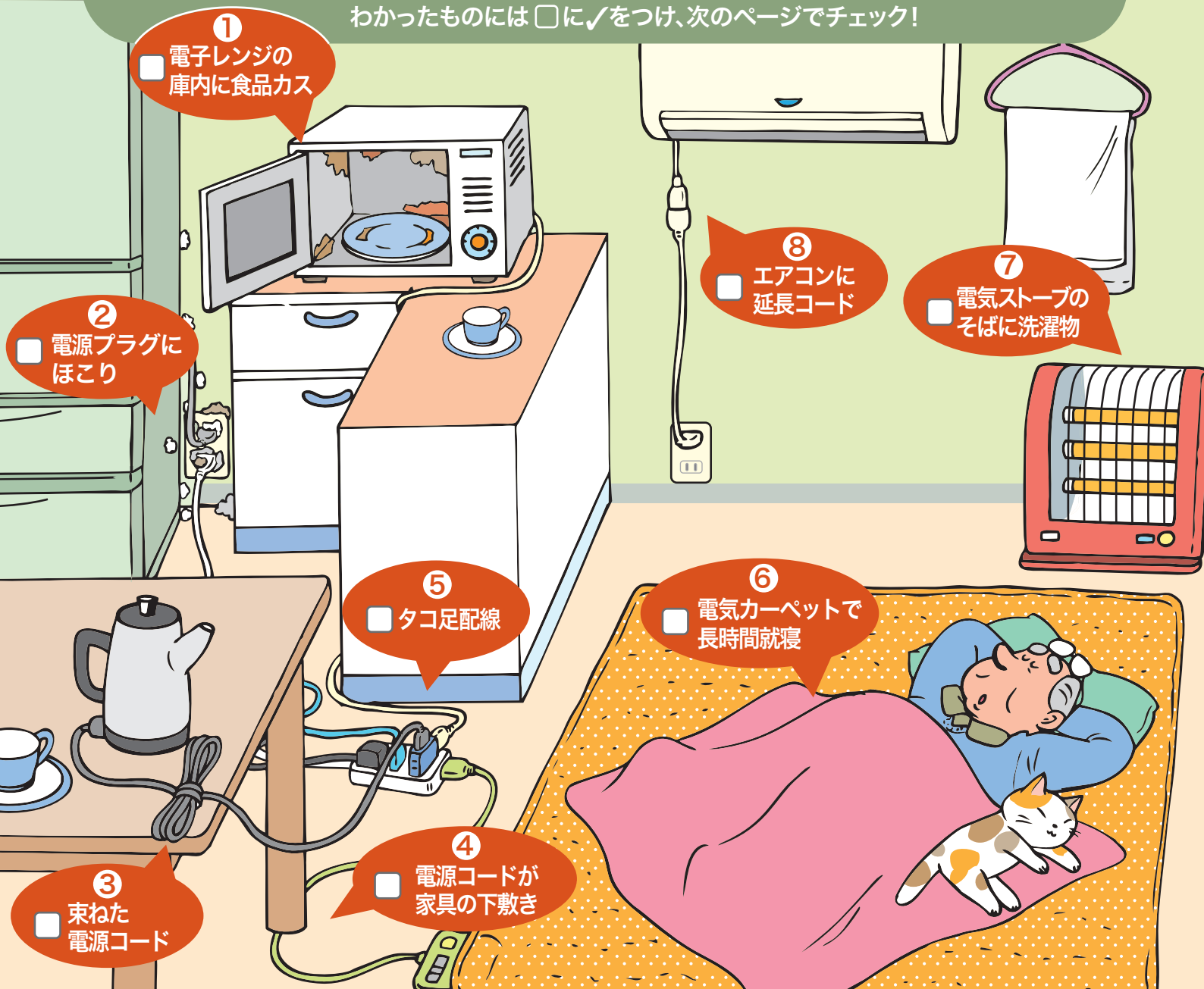


高齢者の安全、安心のために 家電製品を正しく 使っていますか？

毎日何げなく使っている家電製品ですが
使い方やお手入れ方法を誤ると、思わぬけがや火災につながるおそれがあります。
あなたの家電製品の使い方をチェックしてみましょう！

イラストの中に、取り扱いが誤っているものが8つあります。
なぜ誤った使い方なのか、わかりますか？

わかったものには□に✓をつけ、次のページでチェック！



家電製品を正し



してはいけないこと

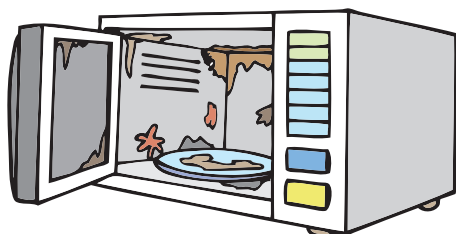


必ず行うこと



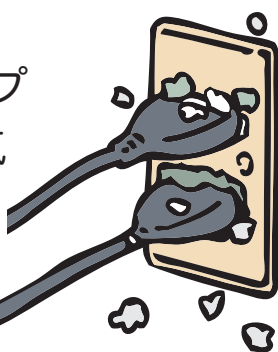
電子レンジ庫内に食品カスなどを放置したまま加熱しない

食品カスなどで汚れていると、その部分が炭化し発煙・発火のおそれがあるので定期的にお掃除してください。



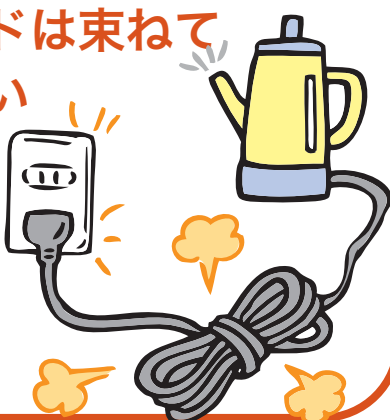
電源プラグは定期的に掃除する

差し込んだままの電源プラグに、ほこりや湿気がたまると発火のおそれがあります。
(トラッキング現象)



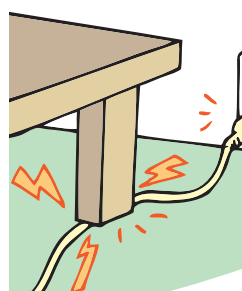
電源コードは束ねて使用しない

束ねたまま使用するとコードが過熱し、発火するおそれがあります。

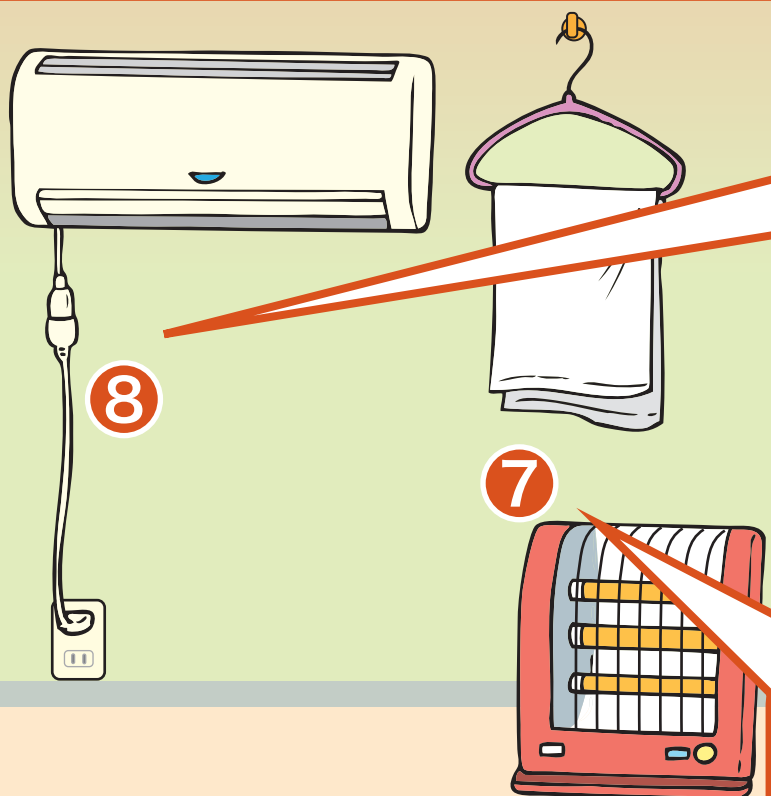


電源コードの上に重いものを置かない

コードが家具などの下敷きになっていると、コードの内部がショートして発火するおそれがあります。



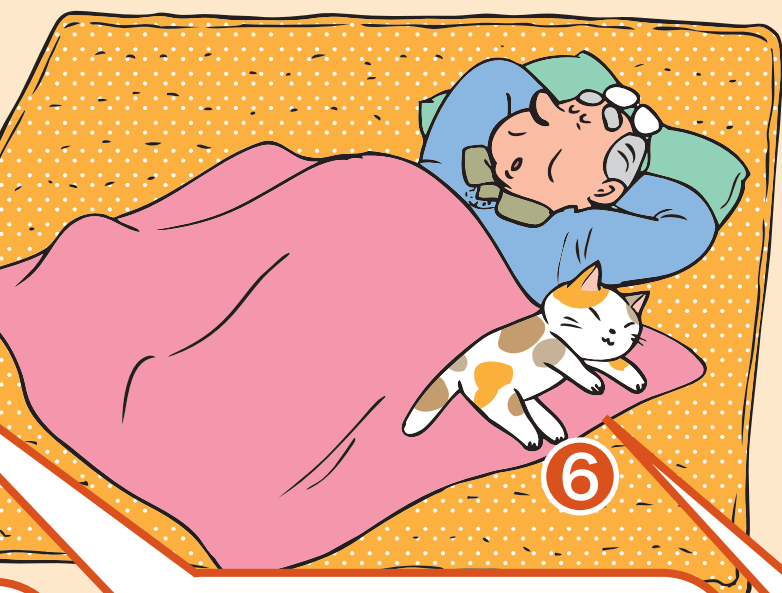
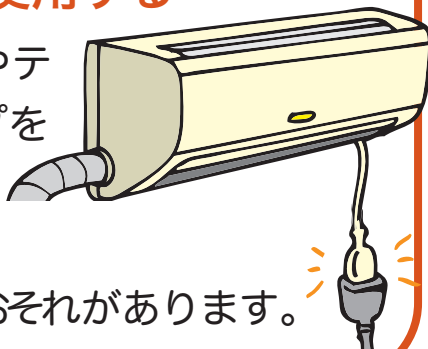
く使いましょう！



**エアコンは専用回線
を使用する**

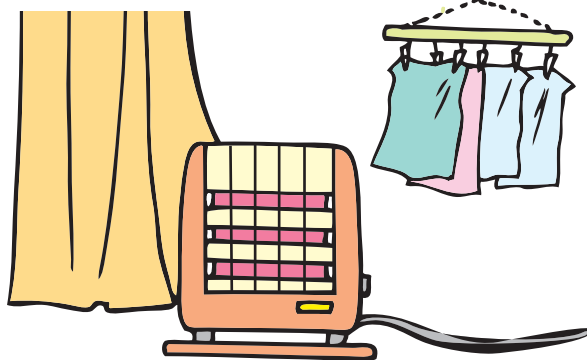
延長コードやテ
ーブルタップを
使用すると
過熱して

発煙・発火のおそれがあります。



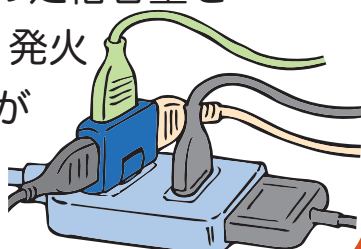
**ストーブの近くに
ものを置かない**

カーテンや洗濯物などを置くと、
火災のおそれがあります。



**タコ足配線は
しない**

コンセントの定格容量を
超え、発熱・発火
するおそれ
があります。



**電気カーペットを就寝用の
暖房器具として使わない**

低温やけどや脱水症状をおこす
おそれがあります。

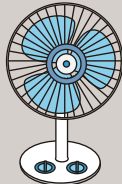


長年ご使用の家電製品を

お使いの家電製品を調べて、何年使っているかを書き出

長い間使っているうちに、熱やほこり、湿気などで内部の部品の劣化が進み、発煙・発火につなが

扇風機^{※1}
換気扇^{※1}



(記入例)

製造年(購入年) 2005 年 ▶ 10 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

I H 調理器



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

ビルトイン式電気食器洗機^{※2}
食器洗い乾燥機



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

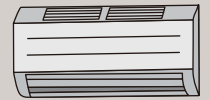
ブラウン管テレビ^{※1}
薄型テレビ



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

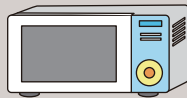
製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

浴室用電気乾燥機^{※2}



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

電子レンジ



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

エアコン^{※1}

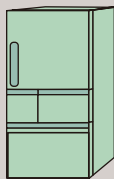


製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

冷蔵庫



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

洗濯機^{※1}



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

をチェックしましょう！

しましょう。
るおそれがあります。

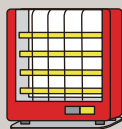
温水洗浄便座



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

電気ストーブ



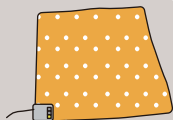
製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

電気こたつ



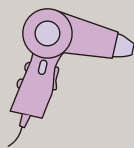
製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

電気毛布 電気カーペット



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

ヘアードライヤー



製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用

製造年(購入年) 年 ▶ 年間使用



愛情点検

こんな症状が見られたら
使用を中止して、
お近くの家電販売店に
ご相談ください。

- ・ スイッチを入れても動かない
- ・ 運転中に異音がする
- ・ 異常に熱くなる
- ・ 動作がおかしい
- ・ 異臭がする、焦げ臭い
- ・ 水漏れがする
- ・ 本体を落としたり
キャビネットが割れたりしている
- ・ ほこりや異物が詰まっている



点検依頼する場合の費用に
ついては家電販売店に
ご相談ください。

※1 長期使用製品安全表示制度該当製品

経年劣化による事故件数の多い家電製品5品目について、
製造年、設計上の標準使用期間と経年劣化についての注
意喚起表示が義務化されています。

※2 長期使用製品安全点検制度該当製品

長期使用による経年劣化により安全上の支障が生じ、特に
重大な危害を及ぼすガス石油製品や電気製品など9品目
について点検制度が定められています。

家電製品を安全に

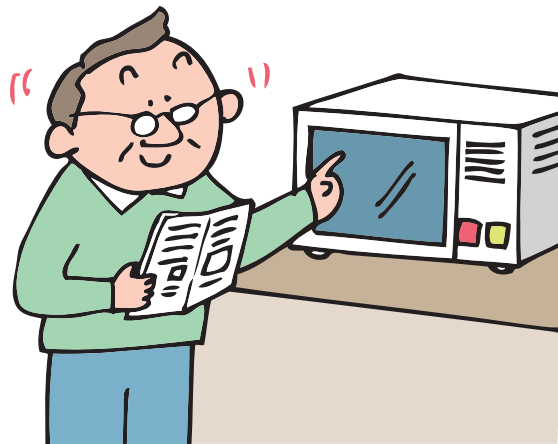
1 表示されているマークをよく確認する。

製品本体や取扱説明書には安全に使うためのマークが表示されています。ご使用前に確認して、正しく使いましょう。



2 取扱説明書にしたがって正しく使う。

「正しい操作方法」「上手な使い方」「使用上のお願い」「故障の見分け方」「安全に関するご注意」などが記載されています。ご使用前には必ずお読みください。



3 お手入れ定期的に

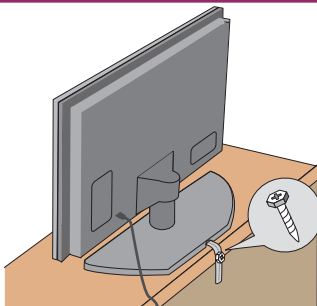
安全を維持する人がお手入れや重要です。また、る家電製品は節、る点検(有料)を受



家電製品の転倒・落下対策をし 地震などの災害への備え、大丈夫ですか？家電

☐ テレビ

転倒防止金具やベルトなどで壁やテレビ台に固定していますか？



☐ 洗濯機

使わないときは蛇口を閉めていますか？

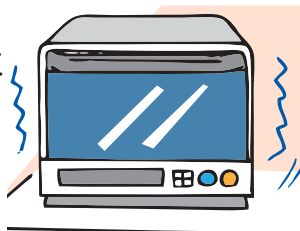


☐ エアコン

室外機はネジや金具でしっかり固定していますか？

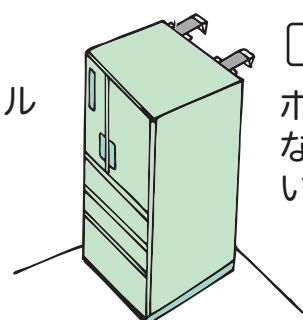
☐ 電子レンジ

水平で安定した場所に設置していますか？
転倒防止金具で固定していますか？



☐ 冷蔵庫

転倒防止用ベルトなどで壁や柱に固定していますか？



☐ 電気温水器

ボルトや振れ止めなどで固定していますか？

使いましょう！

と点検は
行う。

ために、使用する
点検することが
長い間使ってい
目に専門家によ
けましょう。



4 変だなと思ったときは
使用を中止する。

「いつもと違う」「なんか変だな」と
感じたら、すぐに使用を中止し
てください。自己判断で、そのま
ま使っていると、けがをしたり発
火することがあります。



5 家電販売店に
点検を依頼する。

変だなと思ったら、販売店へ連絡
して、点検を依頼してください。

古い製品でお買い上げの販売店
がわからない場合はメーカーの
相談窓口にご相談ください。

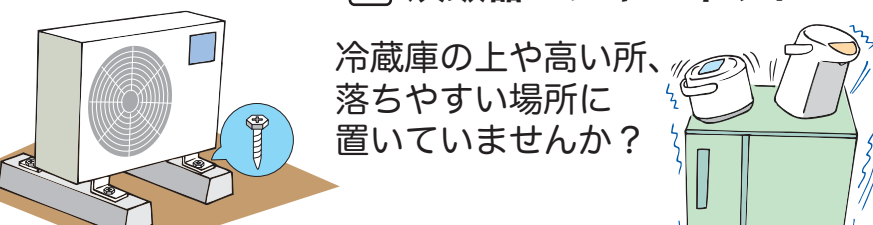


ているか、チェックしましょう。

製品の転倒・落下による事故が増えています。

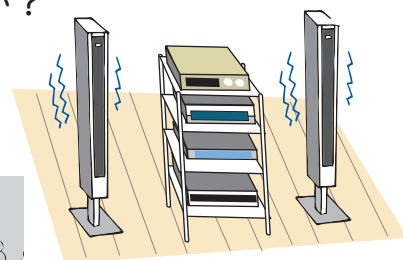
☐ 炊飯器・ジャーポット

冷蔵庫の上や高い所、
落ちやすい場所に
置いていませんか？



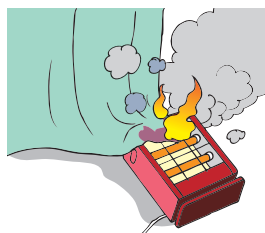
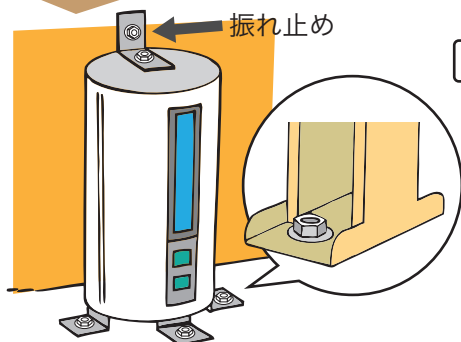
☐ オーディオコンポ

水平で安定した場所に設置して
いますか？



☐ 電気ストーブ

倒れると電源が
切れる機能が
ついていますか？



転倒・落下対策の費用については家電販売店にご相談ください。

住宅用火災警報器を設置しましょう！

住宅用火災警報器は平成23年から設置が義務化されています。火災による死者のほとんどは「住宅火災での逃げ遅れ」が原因です。そして、その半数以上を高齢者が占めています。火災での逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器は必ず設置しましょう。

主な住宅用火災警報器



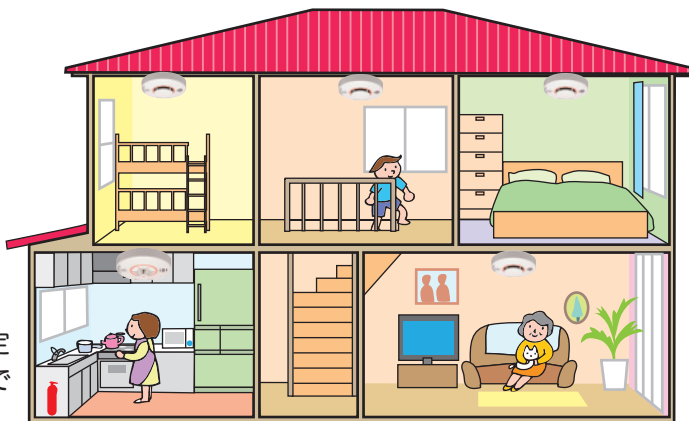
煙式(光電式)火災警報器
寝室、居間など

煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声で火災の発生を知らせます。



熱式(定温式)火災警報器
キッチンなど

警報器周辺の温度が一定温度に達すると音や音声で火災の発生を知らせます。



安全に使うために知っておきたい3つのマーク

禁止マーク



してはいけないこと

注意マーク



注意すること

指示マーク



必ず行うこと



リコール社告など製品安全に関する重要なお知らせは
メーカーホームページの「お知らせアイコン」から確認できます。

家電製品協会のホームページで
「高齢者の安心安全のために 家電製品の正しい使い方」の動画をご覧ください。
<http://www.kaden-aijyotenken.jp/korei/>

高齢者 家電 安全 🔍 検索



このマークは、色覚の個人差を問わずできるだけ多くの人に見やすい
カラーユニバーサルデザインに配慮して作られた印刷物、製品等に表示できるマークです。



〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-7-1 霞が関東急ビル5階

一般財団法人 家電製品協会

TEL:03-6741-5600(代) FAX:03-3595-0761

ホームページアドレス(URL) <http://www.aeha.or.jp/>

発行：平成27年3月